

ミサトピア小倉醫院開設によせて

ミサトピア小倉醫院 院長 薄井尚介

安曇野市（旧三郷村）が運営していた小倉診療所が、医師の補充困難となって城西医療財団に運営を委託され、『ミサトピア小倉醫院』と名称を変更し開設する運びとなりました。

当面は、内科の他に精神科を標榜して、週3日の午前中の外来診察で財団からの派遣医師（小生を含めて3人）で対応します。

まず、地域から求められている医療を提供して信頼を得ることが第一と考えスタッフ一同努力しているところです。

将来的には、地域医療機関と連携して、認知症、物忘れ外来をミサトピア小倉病院の入院窓口として又退院後の受け皿としての外来の計画もありますが、地域の方に認めて頂くことが当面の目標です。

皆様の御声援の程、宜しくお願い致します。



◆ ミサトピア小倉醫院 担当医表 ◆

曜日	水曜日	木曜日	金曜日
診療科	内科・精神科	内科・精神科	内科
担当医	岩本医師	植田医師	薄井院長

※受付時間：午前9時 ～ 正午
 ※診療時間：午前9時 ～ 午後1時

【住所・お問い合わせ先】

住所 〒399-8103 長野県安曇野市三郷小倉2105-1
 電話 0263-77-8711 (FAX兼用)
 E-mail info-ogura@shironishi.or.jp

いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団
 広報文化委員会 編集

平成24年度 新たなスタート

平成24年4月より、城西病院では庄司進一前病院長の退職に伴い、岡崎隆司医師が病院長に就任しました。また、安曇野市三郷小倉にある小倉診療所の運営を、安曇野市より引き継ぎ『ミサトピア小倉醫院』として開設する運びとなりました。

新たな年度を迎え、職員一丸となって地域の皆様に安心して満足いただける医療を提供していきたいと思っております。

城西病院 病院長就任ご挨拶



社会医療法人 城西医療財団
 城西病院 院長 岡崎 隆司

4月1日から庄司先生の後任になっていました。もう1ヶ月半くらい経ってしまっていますがよろしくお願いたします。

個人的にはまったく予定になかったことです。5年ほど前に森の中に小さなログハウスを建てて半分くらいはそちらで生活するようになってきていてそろそろ今年中にはそちらに生活の中心を移そうと思っていたところでした。

小学生の頃からのプラモデル作り、高校生の頃からの溪流のフライフィッシングとバス

フィッシング（実はロッドビルダーでもあります。わからないでしょ。）免許を取ってからのクルマ趣味（フランス車が好き）、カメラ（マニュアルフォーカスのフィルムカメラに限る）などなどやりたいことがいっぱいあって時間が足りないのです。

あまり仕事向きな人間ではありませんが周囲の暖かいご理解を願っています。お願いしますね。

【目次】

- 城西病院 病院長ご挨拶 …… 1
- ミサトピア小倉病院10周年記念式典について …… 2～3
- ミサトピア小倉醫院開設によせて …… 4

＜城西医療財団 理念＞

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、科学的根拠に基づいた治療を行う。

いつも優しく

社会医療法人 城西医療財団
 〒390-8648
 長野県松本市城西1-5-16
 TEL 0263-33-6400
 FAX 0263-33-9920

ホームページ
<http://www.shironishi.or.jp>



ミサトピア小倉病院 創立10周年記念式典

この度、ミサトピア小倉病院は開設10周年を迎えることができました。記念行事として、式典と講演会が行われました。

記念撮影・式典

3月6日（火）16時より、院内体育館にて職員の集合写真の撮影と、記念式典が行われました。集合写真は、プロのカメラマンに撮影を依頼し、体育館の上から撮影されました。集まった110名ほどの職員が、バランス良く写真に納まるように・全員の顔が映るようにカメラマンの指示のもと細かく立ち位置などを調整し、撮影に臨みました。後日、撮影された写真は大きなパネルになって届き、多くの職員が目にするところに飾られました。

撮影終了後、記念式典が行われました。関理事長・篠崎院長のあいさつで式典が始まり、桑村副院長・薄井先生・丸山看護局長のあいさつの後、職員のスピーチが行われました。職員のスピーチは、開設時から在籍している30名の内、各職場の代表者5名によって行われ、10年を振り返っての苦労話や、これからの仕

事に対する希望など、それぞれの思いを發表しました。最後に、堀崎事務局長の閉会のあいさつで、無事に式典が終了しました。その後、同じ体育館内にて、簡単ではありますが、立食のパーティーが行われました。立食パーティーは、城西医療財団勤続40年を超える犬飼先生の乾杯の発声で始まり、お酒はありませんでしたが、オードブルとサンドイッチの軽食で、楽しいひと時を過ごしました。

記念講演会

3月15日（木）18時より、タレントでもあり長野大学客員教授でもある三四六さんを講師に迎え、講演会を開催しました。小倉病院は、入院のみの病院で、外来診療を行っていないため、あまり地域の方になじみがありません。そこで、少しでも小倉病院を身近に感じていただけたらという気持ちから小倉地

区の区長さんに講演案内のチラシを全戸配布していただき、講演会には約150名の地域の方にお集まりいただきました。

三四六さんは、テレビやラジオでの活動のほか、長野県内各地での講演活動・新聞の連載コラムの執筆など幅広く活躍をしておられます。数多くの講演活動やラジオでのパーソナリティーなどをされており、記念講演会では慣れたしゃべり口で、会場を盛り上げました。「絆～人と人との繋がり～」というテーマで講演をしていただき、多くのたとえ話をまじえながら自分の気持ちの持ち方で世界の見え方が変わってくるということや、恋愛の話などをされました。講演会も終盤となり大いに盛り上がる中、最後に男女が結ばれることで「むすこ・むすめ」が産まれて、家族となり『絆』を作るように、この自然に恵まれた小倉地域に病院ができたことで、地域と病院との間に『絆』が生

まれることを願いますという言葉で、1時間ほどの講演会は終了しました。

今回、開設10周年を迎えるにあたり、実行委員会を立ち上げましたが、なにも決まっていないう白紙の状態、初めて開催された委員会時には多くの委員が不安でいっぱいでした。検討を重ね、記念行事の開催時期と式典・記念講演会が決められ、あわただしく準備をしてきました。

最後に、関係者みなさまのおかげで10周年記念行事を、無事に終えることができました。今回のこの記念行事により、小倉病院と小倉地域の方との間に『絆』が生まれることを願っています。

